



電気火災にご注意

電気火災が増加しています！！

テレワークなどでオフィスのレイアウト変更やコンセントの移動等をしていませんか？
コンセントなど身の回りの電気製品を今一度確認してみましょう！

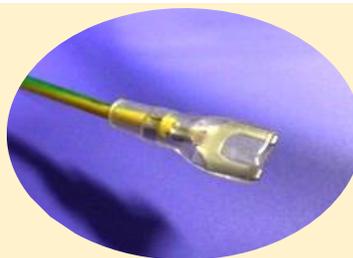
短絡(ショート)による火災事例



アース端子の挟み込み

アース端子には絶縁保護カバーをつけましょう！

差込みプラグのアース端子には絶縁保護カバーをつけ、カバーが外れた状態での巻き込みや挟み込みに注意しましょう。



延長コードの差込みプラグや電気機器の電源プラグを、コンセントやテーブルタップに差込む際、アース端子やヘアピンなどを挟み込んでしまい、ショートして出火する火災があります。

今すぐ確認！出火防止のポイント

- コンセントにプラグを接続しているときには、感電や火災の危険があることを意識する。
- 電気コードを家具等の下敷きにしない。
- 束ねて使用しない。
- 折り曲げた状態で使用しない。

トラッキングによる火災事例



トラッキングによる出火事例



両差し刃が溶断



トラッキング対策済みのプラグ

埃、雨水、多量の湿気の付着により差込プラグなどの両極間に回路が出来ることで起こります。

今すぐ確認！出火防止のポイント

- 定期的に差込みプラグを抜いて清掃する。
- トラッキング防止対策が施されたプラグを使用する。
※現在はプラグにトラッキング防止対策が施された製品が販売されています。

半断線による火災事例



短絡痕状の溶融箇所



折り曲げた状態での使用



家具類の下敷き状態

コードは素線が集まったもの。素線の何割かが切断状態でその部分が発熱しました。

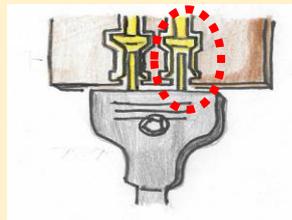
今すぐ確認！出火防止のポイント

- 電気コードを家具等の下敷きにしない。
- 折り曲げた状態で使用しない。
- 差し込みプラグを抜くときは、コード部分を持って引っ張らない。

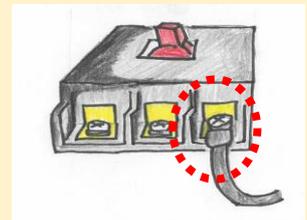
コンセントの接触部過熱による火災事例



片方の差し刃が焼損



コンセントの緩み



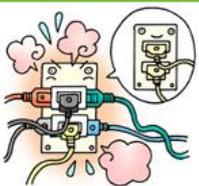
ビスの緩み

配線又は電気機器の接触部の緩みにより、接触抵抗が増加し発熱しました。

今すぐ確認！出火防止のポイント

- コンセントの抜き差しは、丁寧に言い負荷をかけない。
- 差し込みが緩いコンセントは交換する。

TOPIC



テーブルタップやコンセントは大丈夫ですか？

コンセントやコードには、**使用できる電流量に制限**があります！
表示されている電流量を確認して使用しましょう！！

久しぶりに使うコンセントやテーブル
タップはありませんか？
点検・掃除をしてから使用しましょう！



電気製品のこげ跡を見つけて心配になったら
東京消防庁版
電気製品火災相談ガイド



問合せ先

新宿消防署 予防課 調査担当
電話 03-3371-0119 (内線 610)

再確認！コードリールの正しい使い方



新宿消防署管内でコードリールの誤った使い方による火事が発生しています。様々な場面でよく使われているコードリールについて改めて正しい使用方法を確認して、火事を防ぎましょう。

実際にどうやって火事が起きるのか！？

コードリールのように電源コードを巻いて収納する機器は、コードを巻いた状態と伸ばした状態で使用できる電気の流量が違います！

銘盤に記載されているアンペア数が使える電気の流量です。その流量を超えると過電流となり、異常過熱を起こしてコードを覆う被覆が溶けて出火に繋がります！



焼損したコードリール

安全に使うために銘盤をよく見よう！



コードリールの銘盤

※コードリールの種類によっても使用できる電気の流量が異なります。使用前に必ず確認してください。

巻いたままなら 5 A（アンペア）、伸ばしたら 15 A（アンペア）って書いてあるね。



主な電気機器のアンペアの目安

ドライヤー：約 12 A

アイロン：約 14 A

電気ポット：約 10 A

正しい使い方を覚え、火災予防を心がけましょう。